

研究計画説明書

令和4年12月3日

1. **研究課題**：世界における外科修練の現状調査：国際規模アンケートによるサーベイ研究

2. **国内サーベイの実施責任者**：

北海道大学医学研究院クリニカルシミュレーションセンター 准教授 倉島 庸

*国際共同研究としての国際的サーベイの統括責任者は、実施母体である米国外科教育学会国際化タスクフォース委員長 倉島 庸である。

3. **概要**：

目的：背景の異なる多様な医療状況下における世界各国の外科医の修練状況、さらに外科指導医が従事する教育環境や体制を調査し、外科修練の状況及びシステムに関する国際的な比較検討を行う。

方法：米国外科教育学会国際化タスクフォース委員によりアンケート項目を作成後、オンライン回答可能なシステムに導入する。国際規模の調査であるため、アンケート説明及び質問事項を5カ国、すなわち英語、日本語、スペイン語、ポルトガル語および中国語へ翻訳する。米国外科教育学会国際化タスクフォース委員がそれぞれ自国の外科系学会等組織を通して、日本国内、アジア、北米、南米、オーストラリア、中近東、ヨーロッパ、アフリカの教育施設へ調査協力を依頼する。サーベイは外科修練医に対しての調査、及び外科指導医に対しての調査、と2種類のアンケート調査を行い、国際的に共通する外科修練の課題や国別の格差について検討する。

対象：

- ① **外科修練医**：自国の医学部を卒業後外科系の基本領域またはサブスペシャリティを修練中の医師。
- ② **外科指導医**：修練医に対する基本外科領域またはサブスペシャリティの教育・指導を直接担当している。または、外科修練医の修練を管理する責任者

本アンケート調査における「外科」の定義には、手術手技を行う全ての専門領域が含まれる。

例) 一般外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、整形外科、耳鼻咽喉科、など

世界全体で外科修練医 1000人以上、外科指導医 200人以上の回答者数を見込んでいる。

効果等：世界各国の外科研修や指導体制の現状を把握することで、グローバルな観点からの外科教育の課題の共有や国別格差の是正へ向けた基盤情報が得られる。

倫理面及び個人情報保護法に関し特に配慮した事項：

本研究の対象となる外科修練医及び外科指導者からはオンラインアンケートフォームの冒頭で同意を取得したのちに回答してもらおう。同意が得られなかった者に対してはアンケート調査を実施しない。本研究におけるアンケートは無記名回答とし、回答全体を集計したデータは外部との接続を行わないパーソナルコンピュータに入力され、申請済みの情報管理区域のみで管理する。（北海道大学医学研究院 倫理委員会承認番号：R4-019）

4. 研究期間等： 令和5年1月～6月までの6ヶ月間